

月次試合の位置づけ

1. 月次試合とは

月次試合とは1ヶ月から2ヶ月に一度行われる、備後地区柔道連盟主催（以下 本地区と記す）の試合の事です。この試合では、戦績に応じた点数が加点されて本地区が認定する昇級や昇段に必要な点数を取得することができます。

2. 月次試合開催の背景

月次試合は講道館柔道が創設されて以降の伝統的な取り組みの一つです。その意義は、毎日の練習だけでは自分がどれくらい上達の度合いを図ることができず、実際の試合で自分がどれくらい上達したかを試すために行われたものです。講道館では年9回実施され、試合の評価に応じて級・段が認定されています。本地区では1990年頃から年6回実施している主たる行事の一つとなっています。十数年前までは各地域の道場主催の柔道大会を実施していましたが、近年の企業における経済環境から協賛金（広告収入）が激減し地域での大会運営が困難となってきました。従って、この月次試合が自分の技量を試す場として大きな役割りを担っています。

月次試合実施以前、本地区においては各道場、中体連、高体連毎に級認定を行っていました。これを本地区として学年、実力に応じて級認定するという形にした経緯もあります。

3. 月次試合の目的

本地区としては競技柔道のみにこだわるのではなく、柔道創始者である嘉納治五郎先生の教え「精力善用 自他共栄」の精神に則り、安心安全に正しい柔道をする事を心がけています。自分自身の実力を把握し向上心を持ち、現在修行中の若者達が柔道の普及発展のために指導者として活躍してくれることを目的としています。

4. 級・段認定について

- ①小学校1～2年生 10点（黄帯）5級
- ②小学校3～4年生 10点（黄帯）3級
- ③小学校5～6年生 10点（茶帯）1級 ※3年・5年・中学への進級時に点数はリセットします。
- ④初段 中学生男女は10点で昇段審査受験可能（黒帯）
- ⑤弐段 初段取得後1年6か月、8点で弐段昇段審査受験可能
- ⑥参段以降は年限によって昇段審査受験可能
- ⑦他地区への月次試合参加について

本地区では他地区での月次試合参加した選手への点数加算（上限4点）も認めています。

ただし、月次カードへの記入の上、他地区の認証を受けてください。

5. 点数について

- ①勝ち○ 1点、引分× 0.5点、負け△ 0.25点

小学生以下は各クラスで10点以上獲得することによって級認定（色帯）を本地区より授与します。

- ②初段以上のクラスについては初段10点以上、弐段8点以上、参段6点以上がそれぞれの昇段審査の受験条件になります（形講習受講回数、形審査合格、昇段からの修行年数など他の条件があります）。

6. 月次カードについて

- ①獲得点数の確認には月次カードを使用します。カードは1枚50円で販売します。
- ②カードには自身の道場名、全柔連登録ナンバー、対戦相手の氏名、所属道場、勝敗を正確に記入してください。

7. ルールと試合運営について

- ①国際柔道連盟試合審判規定「少年大会特別規定」及び備後地区柔道連盟申し合わせ事項で行います。少年(中学生以下)に関しては、全日本柔道連盟が通達している「少年規定」を採用します。
※国際ルールは度々改正がありますが、全柔連から正式な通達が届くまでは変更しません。
- ②試合時間は小学生2分、中学生以上3分
※各階級予選を2回行います。1試合目は異なる所属の相手と試合をします。1勝した選手は、決勝トーナメントに進むことができます(2回とも引き分けの場合はトーナメントには進めません)。2試合目は勝者同士、敗者同志で試合をします。引分の場合は変則的になることもあります。場合によっては3試合することもあります。
※対戦相手については、原則、予選での同一道場での対戦は無いように配慮しますが、参加者の人数により必ずしもそうならないことをご了承ください。
- ③勝敗について
■予選(変則リーグ) 技の効果・・・一本 技有 有効
反則・・・指導1差で勝敗をつける ※指導3は反則負け
引分・・・技の効果及び指導差が同等の場合
■決勝トーナメント
試合時間内に必ず勝敗をつけます(合議にて勝者を決めます)
- ④人数によってはリーグ戦を実施することもあります
- ⑤優勝、2位、3位には賞状を授与します

8. 幼年・小学生の部の基本的な階級分けについて

- ①幼年の部 ②小学1・2年生の部 ③小学3・4年生の部
- ④小学5・6年生の部(軽量・重量) ※参加人数によって、クラス分けは変わる可能性があります。

9. 中学生以上の階級について

昇級、昇段に関しては基本的には中学生・高校生・一般の区別はありません。しかし安全面を考慮し、中学生のみの階級を組む場合があります。

- ①男子初段の部(軽量・重量) ②女子初段の部
- ③男子弐段の部 ④女子弐段の部
- ⑤男子参段の部 ⑥女子参段の部

となりますが、参加人数により分け方が変更となる場合があります。

※各階級とも中学生と高校生・一般との対戦がある場合は少年規定を採用します。

その際には高校生・一般は水色帯をつけて試合を行います。

※弐段の部、参段の部の参加者が少なく試合が組めない場合は、当日、道場責任者・参加者と相談し、上又は下の階級との試合を組む場合があります。

2025年9月19日 作成